

政策調整会議の概要

開催日：H18.11.30

項 目

- 1 少子化対策の中間取りまとめについて【健康福祉部】
- 2 アウトソーシングの取り組みについて【総務部】
- 3 職務に関する働きかけの事例について【総務部】

内 容

- 1 少子化対策の中間取りまとめについて【健康福祉部】
健康福祉部より、少子化対策の中間取りまとめについて概要説明を行った後、意見交換を行った。

【説明概要】

- ・ 平成 17 年度からは、「少子化社会対策大綱」とその具体的な実施計画である「子ども・子育て応援プラン」に基づき少子化対策を推進してきたが、出生数、出生率とも減少傾向に歯止めがかからず、少子化の流れを変えることができていない。
- ・ 平成 18 年 4 月に、庁内の検討チームを設置した。
- ・ 平成 18 年 8 月に民間のメンバーを含む「高知県少子化問題を考える会」を設置し、高知県の少子化対策の「基本的な方向」を本年度末に取りまとめる予定である。
- ・ 本日は中間取りまとめとして、課題と現状を報告する。
- ・ 具体的な対策のうち、平成 19 年度に事業化できるものは事業化を進める予定である。
- ・ 基本的な考えは次の 4 つである。
 - (1) 人口減少を少しでも緩やかにしていく取り組みが必要
 - (2) 速やかな対策が必要
 - (3) 社会全体で子どもを育てる取り組みが必要
 - (4) 幅広い分野での総合的な取り組みが必要。
- ・ 4 つの基本的な考えを踏まえ、次の 6 つの視点での少子化対策を整理した。
 - (1) 子育て家庭等の経済的負担の軽減
 - (2) 地域ぐるみの子育て支援
 - (3) 子どもが安心・安全・健やかに育つ環境づくり（子育てへの支援）
 - (4) 働き方の見直しや仕事と家庭の両立支援」
 - (5) 未来の親づくりへの支援（未婚化・晩婚化への対応）
 - (6) 雰囲気づくりなどその他の支援
- ・ 本年度いただいた意見や、次年度以降の課題への対応、平成 19 年度に事業化できなかった事業の事業化、事業の検証などの取り組みについて、全庁的組織や外部組織で取り組んでいきたい。
- ・ 裾野の広い取り組みであり各部局にも関係するので、12 月 6 日に平成 19 年度当初予算見積をマスコミ発表する前段に庁内で議論したい。全庁的なことなので、組織としてオーソライズしたいので、12 月 1 日までに主管課を通じて意見をもらいたい。

【主な意見】

- ・ どこかで意見を集約するのか。
12 月 1 日までに各部局の主管課を通じて意見を集約する。その後、12 月 5 日の庁議でも議題とする予定である。細かい部分への意見はあると思うが、今回は大きな柱についての意見が欲しい。後期の政策協議で部局予算の枠外で対応するという事になったので、全庁的な議論をしたい。

- ・ 今まで以上に個人の経済的負担を軽減するということが、財源の課題もあるが、経済的負担の軽減に取り組みたい。
- ・ 経済的負担の軽減については、これまでの県のスタンスとは違うところなので、しっかりと議論する必要があるが、どういう理由か。
議会の質問に対して、県としてこの課題について検討していくと回答している。
- ・ 議会答弁でどうなっているかではなく、なぜそう答えたのかが聞きたい。
一般の方との議論の中で一番強く出てくる意見だ。
- ・ 経済的負担の軽減については、課題認識のところでは「基本的には国の制度として取り組むべき」としているのに、基本的方向では「国の動向なども踏まえて・・・可能な経済的支援の拡充に取り組む」という姿勢では、国に対しての関わり方が弱くないか。国にも制度として要望していく必要があるのではないか。
そういう趣旨である。
- ・ 6つの視点は、上から順番に優先順位と考えていいのか。
6つの記載順と優先順位とは無関係だ。
- ・ 優先順位ではないといっても、優先順位と誤解されるので、一番上に経済的負担の軽減を記載するのはいかなものか。6番目に「雰囲気づくりなどその他の支援」があるが、これは1番上に記載するくらい重要なのではないかと考える。記載方法についても工夫をして欲しい。
- ・ 企業の社会的責任はどう考えているのか。
- ・ 雇用労働政策課と協力して、労働局とも協議をしている。労働局と協力して取り組んでいくことが重要だと考えているので、「高知県少子化問題を考える会」のオブザーバーになってもらっている。

2 アウトソーシングの取り組みについて【総務部】

総務部より、アウトソーシングの取り組みについての概要説明を行った後、意見交換を行った。

【説明概要】

- ・ 平成 18 年度は、アウトソーシング推進関連事業が 77 件ある。そのうち、現在未発注の業務が 5 件あり、1 件を除いて発注時期がまだ到来していないものである。未発注の 5 件は 12 月から 1 月にかけて発注される予定であり、順調に取り組みが進んでいる。
- ・ 平成 19 年度については、予算の見積の段階でアウトソーシング推進関連事業が 102 件あり、事業費総額では 7 億 5,000 万円強である。事業の内訳は、新規事業が 43 件、平成 18 年度からの継続事業が 59 件ある。地域版アウトソーシング事業については 36 件あり、事業費総額では約 600 万円である。
- ・ 3 力年間のアウトソーシング推進計画と比較すると、平成 19 年度での進捗状況は、当初の見込みよりも少ないので、最終年度である平成 20 年度にかなりの事業をアウトソーシングする必要がある。平成 20 年度にかなりの努力をしないと目標が達成できなくなるので、平成 19 年度のアウトソーシングについて再度検討して欲しい。
- ・ 品質管理ガイドラインに沿った評価をする対象事業が 203 件ある。その内、118 件はガイドラインに沿った評価ができていない状況である（24 件は未発注）。評価ができていない理由には様々な理由があると思うが、ガイドラインに沿った評価をして欲しい。来年度から本格運用になるので、このことについても取り組みをお願いしたい。

【主な意見】

- ・ 12 月 6 日の記者発表時には、平成 19 年度の全庁のアウトソーシングの状況についても発表するのか。発表する予定である。

- ・ 県内への発注が低いものがあるが理由はあるのか。
受け皿がないなどの理由がある。これからも副知事通達に沿って県内業者優先で発注して欲しい。
- ・ 来年度の新規事業が43件であり、件数が少ないが理由はあるのか。
受け皿が少ない、アウトソーシングについての見直しを行ったなど様々な理由がある。
- ・ このままの状況であれば、アウトソーシング推進計画の目標を達成するためには、平成20年度には何件くらいの発注が必要になるのか。
計画では3年間で240件から250件の事業をアウトソーシングをすることになっている。業務を統合して発注している場合もあるので一概には言えないが、このままであれば平成20年度に100件以上の発注が必要になる。
- ・ できるだけ早く県内に受け皿を育てることがこの制度の趣旨なので、期間を3年間に限定している。単に県内業者がいるから発注するのではなく、どの部局も受け皿を育成する意識や産業振興に取り組んでいくという意識を持ってほしい。時間の猶予もあまりないので、積極的に受け皿の育成に取り組んで欲しい。
- ・ 障害者自立支援法が改正された影響もあるので、障害者の雇用につながる発注についても考慮して欲しい。
- ・ アウトソーシングに関連して、労働局から労働関係法規に抵触する可能性があるという指摘されている部分があるので、庁内で統一した取り扱いができないか。
これは、労働者派遣法に基づく派遣の場合以外は、各社員に対する業務上の指揮命令権を県（発注者）が行使することができないとされることを指している。指揮命令権の捉え方によっては、労働者派遣法に抵触する可能性がある。
労働者派遣法との関係については、国（労働局）と協議をしているので、適正な発注方法を検討して、県としての方向性を示したい。

3 職務に関する働きかけの事例について【総務部】

総務部より、職務に関する働きかけの事例について、説明があった。

【説明概要】

- ・ 制度の運用が開始されてから年々報告される件数が減ってきている。
- ・ 平成17年12月に記録の徹底を依頼する文書を出し、判断に迷う場合などは記録して欲しいとの依頼をしたが、その後も件数は減っている。県政改革の1つの取り組みでもあるので、企画会議において、有効に制度が機能するための協議をすることになっている。

【主な意見】

- ・ アンケート調査でも実際に働きかけが減ったという意見もあったが、働きかけはあるが書いていないという意見もあったので、再度周知徹底したいということか。
そのとおり。
- ・ これくらい急激に報告件数が減少してきたのは、職員が記載することに抵抗感があると考えられる。時間の経過と共に悪い働きかけだけを記載するようなイメージになってきているので書きにくくなっているのではないかと。実際には、提案や要望、苦情も記載することになっているが、「働きかけ」という名称では悪いイメージを抱くので、「職員に対する要望等」とすれば、書く側の抵抗感が少なくなるのではないかと。良い働きかけも含めて書きやすくするならば、名称を変えることが有効ではないかと。
- ・ 最近他県で問題になっているような地方行政の不透明な部分を排除するためにも、「職務に対する働きかけの取扱要領」をしっかりと守る意識を持って運用して欲しい。[副知事]